

仙台市東部復興道路整備事業に係る
令和5年度外来種生育範囲の確認

令和5年8月

仙 台 市

1. 事後調査

1.1 植物

1.1.1 調査の目的

外来種生育範囲の確認調査では、減少が確認されており令和4年度調査で終了とする方針として報告書（案）を作成しているが、審査会の開催予定時期が夏季以降となり、報告までの間に調査時期を一度挟むことから、自主的に調査を実施し外来種の生育状況の傾向を把握することを目的とした。

1.1.2 調査内容

外来種生育範囲の確認

1.1.3 調査期間

表 1-1 調査期日

調査項目		調査期日
外来種生育範囲の確認	ナガハグサ、オオウシノケグサ、ギョウギシバ、イトコヌカグサ	令和5年5月26日

1.1.4 調査地域

表 1-2 調査地域

調査項目	調査地域
外来種生育範囲の確認	荒浜工区（その1、その2）及びその周辺

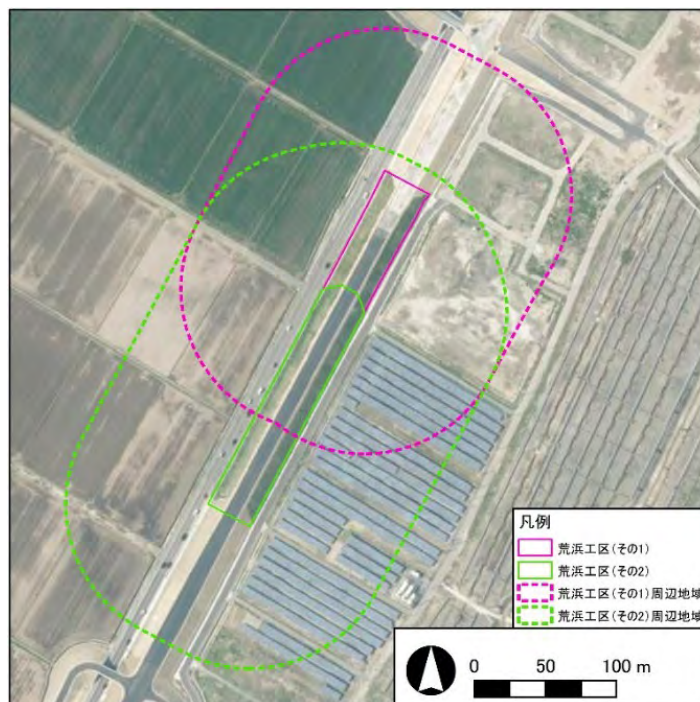


図 1-1 植物調査地域

1.1.5 調査方法

表 1-3 調査方法

調査項目	調査方法
外来種生育範囲の確認	法面において2m×2mの方形区（荒浜工区（その1）：4箇所、荒浜工区（その2）：6箇所）を設置して定量的な調査を行うとともに、工区及びその周辺を踏査し定性的な調査を行った。

1.1.6 調査結果

- ・ 外来種により緑化が行われた荒浜工区（その1）では、令和元年に張芝工による再緑化を講じたことにより調査対象の外来種の生育は確認されなかった。
- ・ 荒浜工区（その1）に隣接する荒浜工区（その2）では、ヨモギ等に被圧されたことにより調査対象の外来種の生育は確認されなかった。
- ・ 荒浜工区（その1）、荒浜工区（その2）周辺では、法面由来と考えられるギョウギシバとオウシノケグサがシールコンクリート上等で確認されたが、令和4年から継続して地点数、個体数が減少傾向にあった。

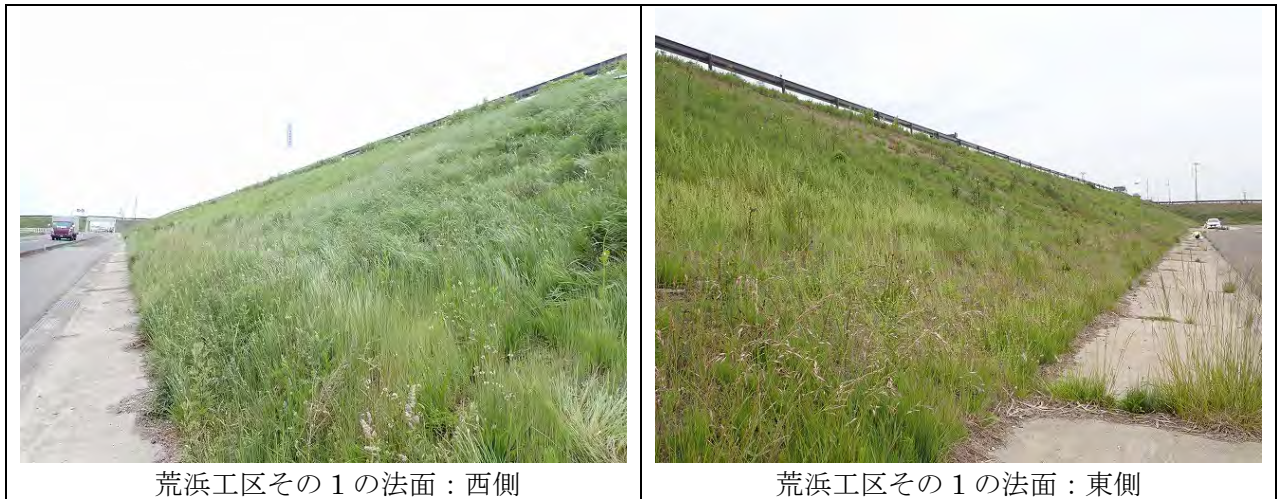


写真 1-1 荒浜工区（その1）の法面の状況



写真 1-2 荒浜工区（その2）の法面の状況



ギョウギシバ除草前



ギョウギシバ除草後



ナガハグサの生育個体



ナガハグサの生育環境



オオウシノケグサ除草前

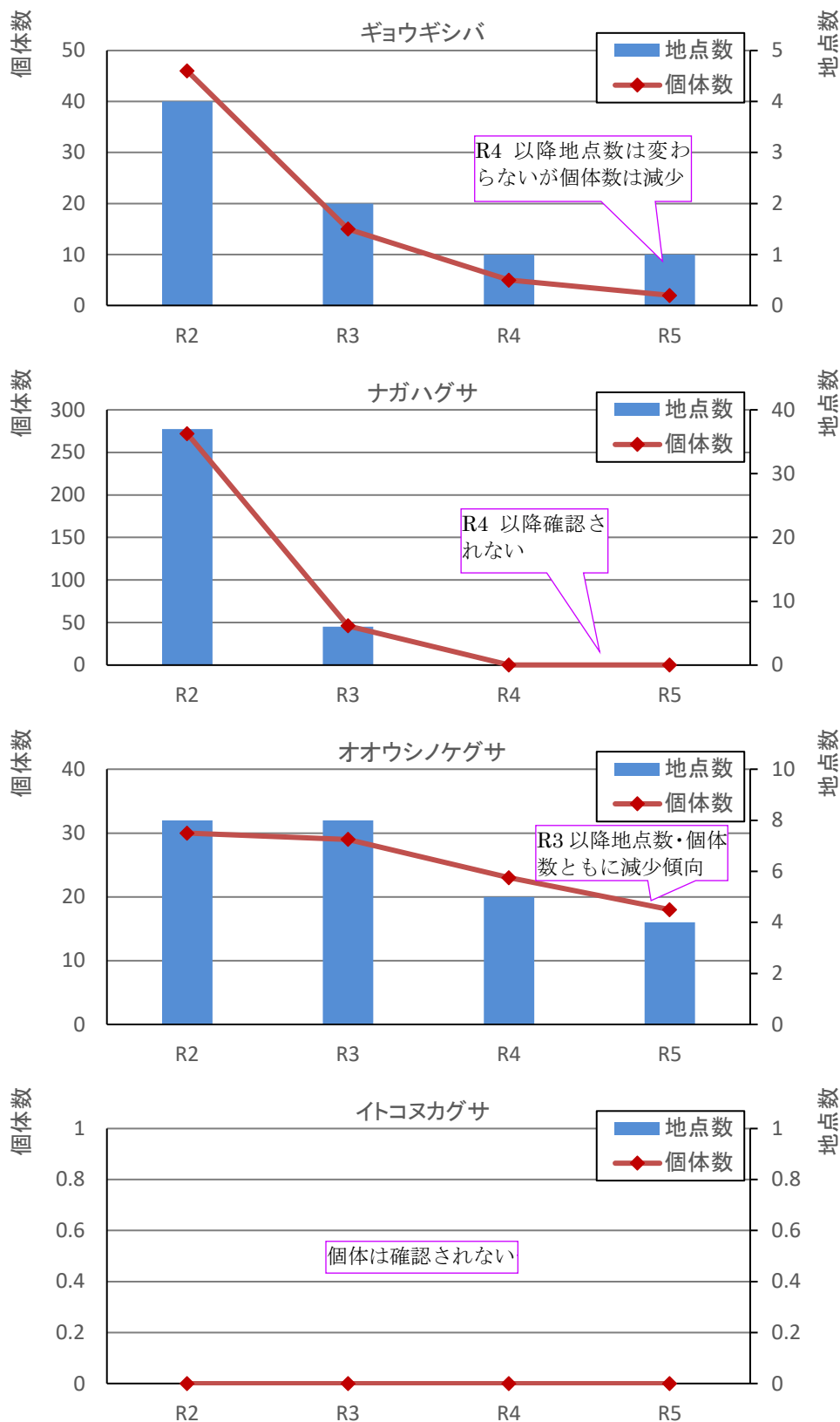


オオウシノケグサ除草後（緑色は在来のシバ）

写真 1-3 荒浜工区（その1、その2）周辺の調査対象の外来種の生育状況

1.1.7 まとめ

- ・令和5年度の調査の結果、荒浜工区（その1、その2）周辺では、法面由来の外来種はギョウギシバとオオウシノケグサの2種が確認されたが、生育量は令和4年度から継続して減少した。
- ・荒浜工区（その1）については、全方形区においてシバが優占種となり、植被率は90～100%であった。散布種子由来の外来種は、令和2年度以降の4年間確認されない状態が維持された。
- ・荒浜工区（その2）については、全方形区においてヨモギやシバ等が優占種となり、植被率は100%であった。散布種子由来の外来種は、令和4年度以降の2年間確認されない状態が維持された。
- ・荒浜工区（その1、その2）周辺では、法面由来の外来種はギョウギシバとオオウシノケグサの2種が確認されたが、生育箇所はシールコンクリート上などに限定され、地点数、個体数ともに令和4年度から継続して減少傾向にあった。（図 1-2）



注) 逸出個体を識別してカウントされた令和2年度以降の数値を集計した。

図 1-2 荒浜工区（その1、その2）の周辺地域における法面由来の調査対象種の確認数